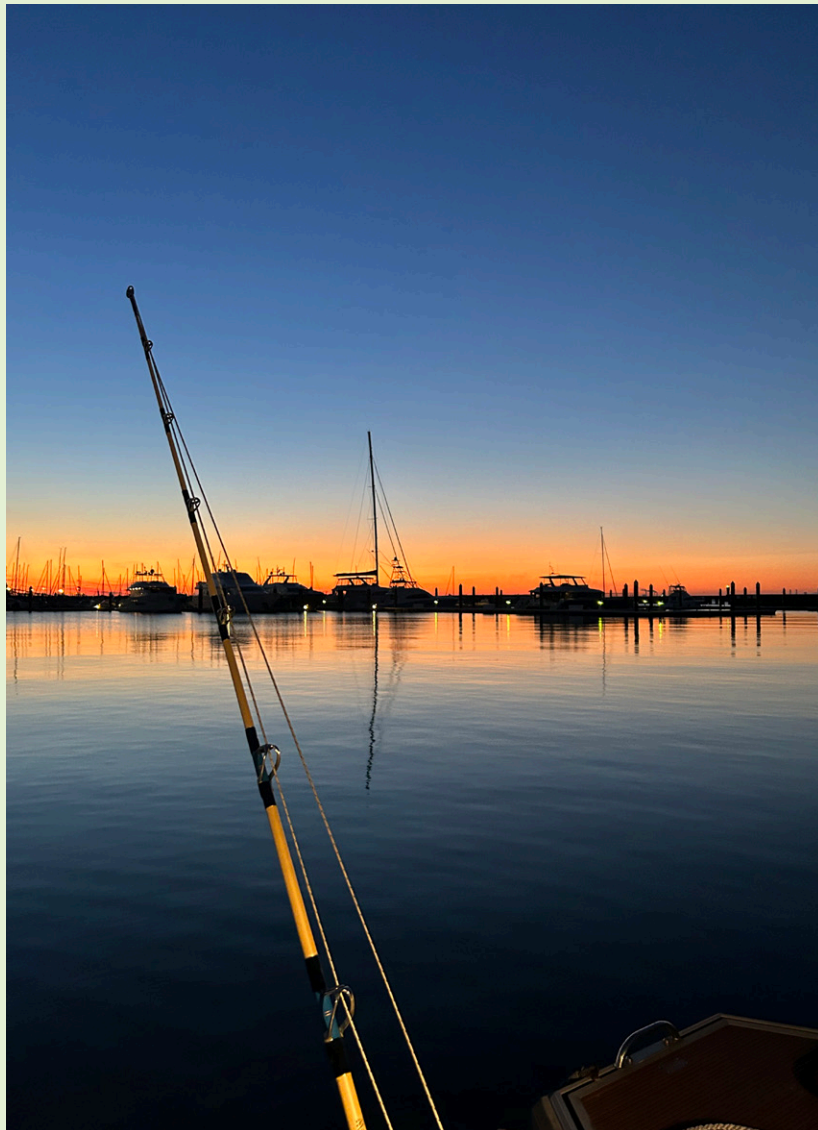


Kanpuku News

2023 Autumn

関複ニュース No.

4



横浜朝焼け (写真提供：家令光国氏 (株)三千和商工)

- 巻頭言 関複理事 家令 光国
- 関複 緊急企画セミナー「正しい防災対策」
- 関複 令和5年度 第4, 5, 6回 理事会
- 関複50周年特別企画 ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー
- 連載 事業承継問題 第2回「失敗事例から学ぶ事業承継」米田 和秀
- 神田先生の質問回答コーナー 神田 幸男



関東複写センター協同組合



Revoria™

Revoria™ (レヴォリア)は
富士フィルムビジネスイノベーションによる
プロダクション・プリンティング・ソリューションの
ブランドです。

Revoria Press™ —— 乾式トナー方式プロダクション・プリンター

Revoria Flow™ —— プリントサーバー

Revoria One™ —— 印刷ワークフロー関連ソフトウェア

プリンティングビジネス全域にかかわる
この3領域の製品を連動させながら
グローバルにサービスを展開していきます。

わたしたち富士フィルムビジネスイノベーションは、
皆様と共にプリントビジネスの可能性を広げ、
富士フィルムグループの一員として
真に価値ある製品やサービスの創出に貢献します。



FUJIFILM

富士フィルム ビジネス イノベーション株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3

TEL:03-6271-5111 (代表)

<http://fujifilm.com/fb>

FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。
Revoria、Revoria ロゴ、Revoria Press、Revoria Flow、および Revoria One は
富士フィルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

『運』てなんだろう？

関東複写センター協同組合
理事 家令 光国



運がいいとか悪いとか、長い人生の中で何度かそのようなことを考えたことはありませんか。特に物事が上手くいかなかったときなどは「今回は運が悪かったなあ」と思いたくなりますよね。そもそも運の定義って何？

運とは人の身の上に起こってその人の幸不幸にかかわるような物事や、その物事をもたらす不可避の超越的な作用であると解説されています。良い影響をもたらす巡りあわせは幸運、悪い結果をもたらす巡りあわせは不運と呼ばれます。

しかしその自分の意思や努力ではどうすることもできない巡りあわせを自分に引き寄せる方法を科学的に証明した研究結果も存在します。

ある心理学者の研究によると、運のいい人と運の悪い人を対象に両者の人生に異なる成果をもたらすのは全くの偶然か本質的な違いなのかを徹底的に調査をした結果、運は偶然に起こることではなく、自分自身の選択によるところが大きいとわかりました。

具体的に言うと運を引き寄せる人はチャレンジャーである事、継続して物事を続けられる事、そして失敗についてくよくよ悩まず、悪い出来事の良い面を見て、そこから学ぶ人。このような楽天思考は一層目標に向かって懸命に打ち込み、決して諦めずに最後までやり通す力を与え、それがまた上昇スパイラルとなり結果に結びつくということです。

そこで思い出すのが今や世界的ヒーローとなった大谷翔平君です。

米田理事長も目標の実現に向けての整理に利用されている曼荼羅チャート、大谷選手は高校1年生の時にプロ野球選手になるための目標を曼荼羅チャートに書き込んでいます。

その目標達成の中には運という項目がありました。彼は高校生の時に既に自分で運を引き寄せるためには何をすべきかを考えていました。8つのすべきこと
1. 部屋の掃除 2. 審判さんへの態度 3. 本を読む 4. 応援される人間になる 5. プラス思考 6. 道具を大切に使う 7. あいさつ 8. ゴミ拾い

私はスーパースターになった今でも審判さんへの態度、あいさつ、道具を大切に扱う、そしてゴミをさりげなく拾う姿を何度も見えています。まさに継続をしているのですね。

そして彼は運をも引き寄せ結果に結びつけている。あの日本中が興奮したWBCの決勝、大谷選手の最も尊敬している、最高の野球選手である同僚のマイクトラウト選手を三振にとり劇的な優勝を遂げたのも偶然ではなく必然だったのではないのでしょうか。

私もいつか良いことがあると信じ続けていることがありますが、未だに何も起こっていない。

もしかしたら…何も無いことが一番良いことかもしれないですね。

体のケア	9750を飲む	RSQ 99kg	インステップ 改善	自律強化	膝をぶるせない	角度をつける	上からボールをたたく	リストの強化
真面目	体づくり	RSQ 130kg	9750の安定	コントロール	不安をなくす	力強い	キレ	下半身の手動
スタジアム	可動域	自律強化 自律強化	下腿の強化	不安をなくす	メンタルをコントロール	ボールを握る	腕をアップ	可動域
はっきりとした目標設定を持つ	一生懸命 一生懸命	自律強化 必死必死	体づくり	コントロール	キレ	膝でまわる	下腿の強化	体重増加
ピンチに強い	メンタル	自律強化 自律強化	メンタル	ドラ1 8球団	自律強化 100km/h	自律強化	自律強化 100km/h	腕の強化
涙をつくる	勝利への執念	自律強化 自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化
自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化
自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化
自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化	自律強化

曼荼羅チャート

関復

緊急企画セミナー「正しい防災対策」をリアル、オンラインのハイブリッド形式で開催

リコー PIC ショールームツアーも併催

関東複写センター協同組合（関復、米田和秀理事長）の教育情報部（家令光国部長）は、8月2日午後1時30分から、港区・芝浦のリコープリンティングイノベーションセンター（PIC）で防災アドバイザーの高荷智也氏を講師に、緊急企画セミナー「正しい防災対策」をリアルとオンラインのハイブリッド形式で開催した。リコーPICのショールーム見学会も併催され、リコージャパンからも新製品、ユーザーの成功事例などの情報提供が行われた。

当日はリアル、オンラインを合わせ35人の組合員が参加した。

開会に先立ちあいさつに立った米田理事長は、猛暑の中参集した出席者に謝辞を述べた後、「災害に対する対応は非常に大事だと思うことが一つと、リコージャパンさんが提供する先進的なものを皆さんが目を見て、感知力を使ってそれが何に使えるか、どう役立つかということをしっかり聞いて、自分のものにしていただきたい」と語った。また、今日のセミナーとリコージャパンさんからの新情報を見るということは、「他人ごとではなく、皆さん経営者並びに経営幹部にとっては、当事者として受け止めていただきたい」と要望した。

ショールームツアーのはじめに、ユーザー事例として、岡山市の印刷会社フアビオ社の紹介動画が流された。同社はリコージャパンの協力で、ショールームを改装し、そこに顧客を呼び込むことによって新規顧客の開拓、売り上げの拡大につなげたという。

続いてリコーが8月に発売したカラープロダクションプリンタ RICOH Pro C9500 のプレゼン

テーションが行われた。トナー印刷特有のがさつきを抑えた高画質と、連続稼働時の高い安定性などが特徴で、新採用の摺動（しゅうどう）定着方式により、厚紙や凹凸紙に加え、最薄40g/m²の薄紙にも対応可能。また、新開発の本体制御システム「RICOH GC OS」により、用紙設定や調整、機器の利用状況やメンテナンスの管理に、特別なスキルが不要だという。

ショールームには機器の実演、成果物の展示説明もあり、2班に分かれて見学した。

第2部の緊急企画セミナーは「死なないための防災対策～命を守る防災対策3つのポイント～」と題し、防災アドバイザーの高荷氏が静岡のスタジオからオンライン講演をした。

高荷氏は地震や、噴火、台風大雨などの自然災害に対しては、事前の準備が生死に直結すると述べ、死なないための防災対策として①大地震の「揺れ」から身を守る準備―建物と室内の安全対策 ②命にかかわる二次災害から逃げる―避難計画と道具の準備 ③避難所生活での災害関連死を防ぐ―防災備蓄と被災の生活と3つのポイントにわけ、家具の固定の仕方、火災対策、ハザードマップの入手方法とその活用法、避難時の必需品、避難所での注意点など、実に細部にわたり懇切丁寧に説明した。



ほぼ満席のセミナー会場

令和5年度 第14回

PP維持更新・新規研修会開催

PP事業部長：朝香 雅文

PP事業部では、9月9日(土)北海道地区から、PP維持更新研修会・新規研修会がスタートしました。

TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前カンファレンスルームにて開催。新規2社(2名)、更新及び維持研修26社(33名)大勢の方が、熱心に講習を行いました。今年度の、プログラム内容は、個人情報保護法改正ポイント、個人情報の取り扱い実務に携わる従業員の監督、ヒアリハット事例と対策、確認テストの解説の流れとなります。

9月20日(水)宇都宮2社(7名)、10月7日(土)東日本地区(仙台)6社(10名)、東京では、10月18日(水)、11月16日(木)に

開催いたします。

2005年に「個人情報の保護に関する法律」が施行されたことをきっかけに、関東複写センター協同組合が2009年にプライバシーポジションと称し独自に設けた制度です。今では、北海道から沖縄まで認定企業が増え、全国に広まり、おかげ様で現時点認定取得企業様は70社となりました。



北海道地区研修会の模様

第26回日本自費出版文化賞最終選考結果

大賞作品に地域文化部門の『墨に五彩あり』

色川大吉賞の新設も発表

日本グラフィックサービス工業会(ジャグラ、岡本泰会長)が主催し、日本自費出版ネットワーク(川井信良代表理事)が主管、朝日新聞社・



大賞受賞作品『墨に五彩あり』

日本印刷産業連合会・関東複写センター協同組合などが後援する「日本自費出版文化賞」の「第26回受賞作品発表会」が9月6日午後4時から、東京・吉祥寺の東急REIホテル

で開かれた。

大賞作品には地域文化部門の『墨に五彩あり―墨の不思議な魅力―』(綿谷正之著、奈良県奈良市)が輝いた。7部門の部門賞、特別賞も決めた。さらに、初代選考委員長であり同賞の発展に貢献した栄誉を称え、『色川大吉賞』の新設も決めた。その具体的内容は今後検討されることになった。

発表会では冒頭主催団体を代表して岡本会長があいさつに立った。岡本氏は、同賞は印刷業界全体で支えていくべきものであると評価し、日印産連傘下の10団体をはじめ諸機関に働きかけて日本全国にこの自費出版活動をますます広めたいと述べた。

JBR

第20回納涼大会を開催

22社 63人が出席 コロナ明けの中、昨年以上に盛り上がる

情報ビジネスリコー会（JBR、会長＝北島雄二 共立工業社社長）は7月21日午後7時から、東京・文京区関口のホテル椿山荘東京で「第20回納涼大会」を開催した。



あいさつする北島会長

はじめに北島会長はここ数年、想定外のことがいろいろあったと述べ、コロナ禍、ウクライナへのロシアの侵攻、大雨災害などの例をあげた。「今は、コロナ禍のゼロゼロ融資を借りた人が、業績も回復しないのに返済しなければならないなど、いろいろなことを聞くが、今日はそう

いうことを横に置いて、この会を楽しんでいただき、それを明日につなげていただければと思います」と述べ、乾杯の発声を行なった。

会は着席、ビッフェ形式で行われ、各人好きな食べ物、飲み物を堪能し、アルコールもゆき渡ったとき、今回の目玉企画である物まね芸人のセニユール玉置氏が、顔までそっくりの玉置浩二の物まねを中心に、松山千春、谷村新司、長淵剛、さらには沢田研二に変化して見せた。

また、JBR 納涼大会の定番お楽しみ企画、抽選大会『チョイス!』では、例年とおなじく多数の賞品が用意され、豪華賞品を引き当てた当選者の笑顔が会場にあふれた。

JBR オンラインセミナーを開催

「がんについて知ろう」

マスコミで大活躍の東大 中川恵一特任教授が講演

情報ビジネスリコー会（JBR、会長＝北島雄二、共立工業社社長）が、Zoomウェビナーでセミナー「がんについて知ろう」を8月25日午後3時半から配信した。

はじめに北島会長はあいさつの中で、今回のセミナーが関西リコー創青会の楠本雅一会長の提案で、JBRを含め全国に4カ所あるリコーユーザー会の会員にも案内していることを明らかにした。コロナ禍の中、会員社のオンライン環境の整備がすすんだことにより、今回初めての全国展開になった。会員14社から16人が受講した。

講師の中川恵一東京大学特任教授は、医師、がん専門医、さらに放射線研究者でもある。

中川特任教授は「日本は世界で唯一の被爆国

だが、国民の放射線に対する知識は乏しい」と述べ、福島第一原発事故の影響についてもひどく誤解が広まっていると現状を憂いた。

中川特任教授によると、内部被ばくによるがんリスクはほぼゼロなので、放射線ではなく長期の避難が避難者の健康に悪影響を及ぼしていることを明らかにした。がんの主要な原因は喫煙や運動不足などの生活習慣で、がんを避けるための避難が、がんを増やすという皮肉な結果となると指摘。中川特任教授は放射線とがんをイロハからやさしく説明した。



中川特任教授

PAM研

2023年度(第14期)定時総会を開催

トレンドセミナーに夏野近大教授を迎える
PAM研テーマを「突破」に決める
松島会長はじめ新役員体制も選出

PODアプリケーション&マーケティング研究会(PAM研、会長=松島功比・シー・シー社長)は7月11日午後3時から、東京・田町のリコージャパン田町第2事業所で「2023年度(第14期)定時総会・第1回研究会」を開いた。これにはリアルで26人、リモートで30人が参加した。



松島会長

はじめに松島会長は昨今のコロナ状況、経済状況、国際状況に触れながらその不安定要素を指摘した。前回の大阪でのPAM研の会合模様にも言及し、その現状変革の意欲に感銘したと述べた。また会長は「紙こそ最強のマーケティングツール」というセミナーに参加した印象を語り、PAM研が数年前から取り組んでいるバリアブル事業にも通じるとして自信を深めた。

賛助会員代表として泥谷(ひじや)謙司リコージャパンPP事業部長は自己紹介を兼ねてあいさつ。宮尾康士リコーグラフィックコミュニケーションズビジネスユニットプレジデントもリコー代表のあいさつを行った。

トレンドセミナーでは夏野剛近畿大学情報学研究所長が「最先端IT技術(AI, チャットGPTなど)による環境変化に企業はどう対応すべきか?」のテーマで講演した。

夏野所長は1993年からテクノロジーの変遷に触れ、デジタル革命に乗り遅れた日本、

1996年以降停滞する日本経済の状況、硬直化する社会システムを指摘。

企業革新よりも現状維持、新陳代謝が起こりにくい社会風土、国レベルの経済の停滞をあげ、いまこそマネジメント改革を、と説き、テクノロジーよりも「人の仕組み」の変革が必要だと訴えた。

第14期定時総会では松島会長を議長に選出し、審議に入った。第2号議案は第13期(2022年度)会計報告、第3号議案は第14期活動計画、第4号議案は第14期予算案、第5号議案は役員体制案となっており、すべてを原案通り了承した。

第14期PAM研の目指すテーマは、「突破」を決めた。困難を克服し、新たな一歩を踏み出す、としている。①会員同士のつながりを深める ②最新トレンド情報を取り入れ、新たなビジネスを創造 ③多様な取り組みを共有し切磋琢磨するための新規会員獲得、が大項目。

●会員の事業内容や取組を紹介する。「突撃レポート」を継続して発行(事務局実施、年6回以上)。地方開催による会員発表●地方開催におけるオブザーバー参加の推進、など具体策が盛り込まれた。

また、ビジネス拡大目標として、PAM研所属会員PODプリントボリューム(カラー)2022年度比110%を掲げている。

役員体制では松島会長はじめ副会長に満田創氏、渥美和彦氏、会計監査には青柳泰一郎氏、幹事には井上正行氏ら7氏が、特別顧問に山田修三氏を選出した。

令和5年度 定例理事会 報告

第4回定例理事会 7月12日 開催

開催場所：関復事務局、Zoom ハイブリッド形式

I. 【審議事項】

- ・東京都中小企業団体中央会会長表賞について
表賞対象者の松岡豊副理事長の推薦書類を提出。

II. 【確認事項】

▽ 会員交流推進部

1) 秋のゴルフコンペについて

- ・立野クラシック・ゴルフ倶楽部で10月7日に開催予定。

2) 関復50周年記念式典について

- ・令和6年1月19日にロイヤルパークホテルで行う50周年記念式典の、当日の食事内容、会費、セミナー、アトラクションなどを協議。8月中旬に開催する理事会までに森迫隆正副理事長（実行委員長）を中心にたたき台をつくる。11月には案内状を郵送し、12月には参加者が把握できる状態にする。

▽ 広報企画部

- ・Kanpuku NEWS Summer号は7月4日に発送が完了した。

- ・関復HPのURL表記をhttpからhttpsに変更し通信暗号化に対応するため、HP管理担当者のケーヨー 佐藤拓土氏と打ち合わせ中。

▽ 教育情報部

- ・8月2日13時30分からリコープリンティングイノベーションセンターで、見学会とセミナー『正しい防災対策』を防災アドバイザー 高荷智也氏を講師に開催する。現在、参加者がすくないため、その対策が話し合われた。

▽ PP 事業部

- ・北海道、宇都宮、東日本、東京など各地区の担当者とPP講習会について打合せを行っている。

III. 【その他】

- ・中央会より「資金繰り対策支援講習会」開催の案内があった

第5回定例理事会 8月3日 開催

開催場所：関復事務局

I. 【審議事項】

- ・関復50周年記念式典について
令和6年1月19日にロイヤルパークホテルで開催する50周年記念式典の内容が協議された。

森迫隆正実行委員長を中心に、30周年記念式典の式次第などをもとに協議をすすめた。

第1部の式典は午後5時から始まり、第2部の「創立50周年記念祝賀会」は午

後 6 時からの開催が決まった。
当日行われる記念表彰対象者には齋藤隆正前関復理事長が選ばれた。
祝賀会の目玉となる出演者についてはナターシャ・グジー氏、渥美二郎氏などが候補に上がり、それぞれの推薦者が次回の理事会まで出演が可能か打診することになった。



8月理事会の様子

第6回定例理事会 9月14日 開催

開催場所：関復事務局

I. 【確認事項】

各部会の活動について

▽会員交流推進部

- ・秋のゴルフコンペについて

立野クラシック・ゴルフ倶楽部で10月7日に開催する。現在参加申込者は11人。

▽広報企画部

1) 「Kanpuku News」について

Kanpuku NEWSの編集作業を担当しているピバンから、10月をもって事業休止との申し出があったため、Winter号からの編集体制について協議が行われた。

2) 関復HPの通信暗号化の件

関復HPのhttpからhttpsへの移行が完了した。

▽教育情報部

- ・8月2日の13時30分からリコープリンティングイノベーションセンターで、見学会と緊急セミナー『正しい防災対策』を防災アドバイザー 高荷智也氏を講師にハイブリッド形式で開催した。(詳細は本誌4頁に)
- ・50周年祝賀会に出演予定のナターシャ・グジー氏には家令光国教育情報部部長が交渉中。

事前PRとしてKanpuku News August号に紹介記事を掲載する。(詳細は本誌17頁に)

▽PP事業部

- ・すでに開催した北海道地区の講習会の参加人数などの報告があった。またこれから開催する宇都宮地区、東北地区、東京、名古屋地区の開催日、参加予定人数などが発表された。(詳細は本誌5頁に)

II. 【審議事項】

- ・関復50周年式典について

1部「式典」、2部「創立50周年記念祝賀会」の各パートを、進行をシミュレーションしながら細部にわたり検討、協議を行う。

抽選会の景品、参加者への手土産、当日の会費なども決定した。



9月理事会の様子

DSF

2023年中間発表会・25周年記念事業を開催

白橋会長「まだ25年、これから30年、50年へ」

富士フィルム
ビジネスイノベー
ションジャパン
(BIJ)のユーザー
層で構成される
ドキュメント・
サービス・フォー
ラム(DSF)(白
橋明夫会長)は
7月7日午後1時



白橋会長

半から、横浜市の新横浜プリンスホテルを中心にハイブリッドで「2023年中間発表会・25周年記念事業」を行った。リアル会場に38人、Zoomで21人、合計59人が参加した。

白橋会長は1997年に設立されたDSFは昨年25周年を迎えたがコロナ禍でそのお祝いがかかわらなかったと述べ、自身の25周年に触れてDSFとの関わり合いを振り返ってみた。そのうえで経営者の能力は挫折とジャッジの回数によって鍛えられるという教訓を紹介し、新しい時代に向けた素晴らしい経営者としての成功を願った。「まだ25周年、これから30年、50年と続くDSFになる」ことを表明した。

ドイツから帰国したばかりの木田裕士富士フィルムBI執行役員は、4月1日付の富士フィルムグループにおけるグラフィック事業部門の新体制を説明し、自身がその総責任者に就いたことを明らかにした。またドイツにおける印刷会社の実情に触れてDSFの方向性は間違いないと紹介した。

その後、デジタルマーケティング研究会、

人材(人財)育成研究会、DX研究会、ODPグラフィック研究会、経営者の会、社会貢献活動の6研究会のリーダー・担当理事がそれぞれの活動の中間発表を行った。

休憩を挟んでDSF25周年記念事業が行われた。2017年から2022年の5年の振り返りとして動画紹介があり、25周年にあたり、お祝いのことばが富士フィルムBIJの旗生泰一社長からあった。事業競争力の強化につながるパートナーとしてJAPANの役割で市場の声を届けるようこれからも頑張っていきたいと決意表明があった。

その後、記念講演が行われた。講師は一橋大学名誉教授の米倉誠一郎氏。テーマは「社会課題をイノベーションで解決しよう：現代の創造的対応」。

米倉氏は、今日話したいことは「希望、であるとし、①イノベーションは手段で目的ではない ②危機に強い日本とSDGs ③楽観主義には現実直視を ④多様性を高めよ：ワカモノ・ヨソモノ・バカモノ、という切り口で論を展開し、共通目標を持つと意外に強い日本の現状を浮き彫りにした。米倉氏はイノベーションとは、「すでにあるものを新しくやる」とは視点転換に他ならない、すなわち違った見方が必要ということだと説いた。

質疑応答の後、開催地地元担当の富士フィルムBIJ執行役員神奈川支社長の高階宏太郎氏が「今後より一層発展していきたい。ぜひ皆様と一緒に笑顔になれるように」とあいさつを述べた。締めあいさつとして、生島裕久DSF副会長が総括した。

請求書受領クラウドサービス「TOKIUMインボイス」のご紹介 経理業務のDXとインボイス制度/電子帳簿保存法への対応を支援

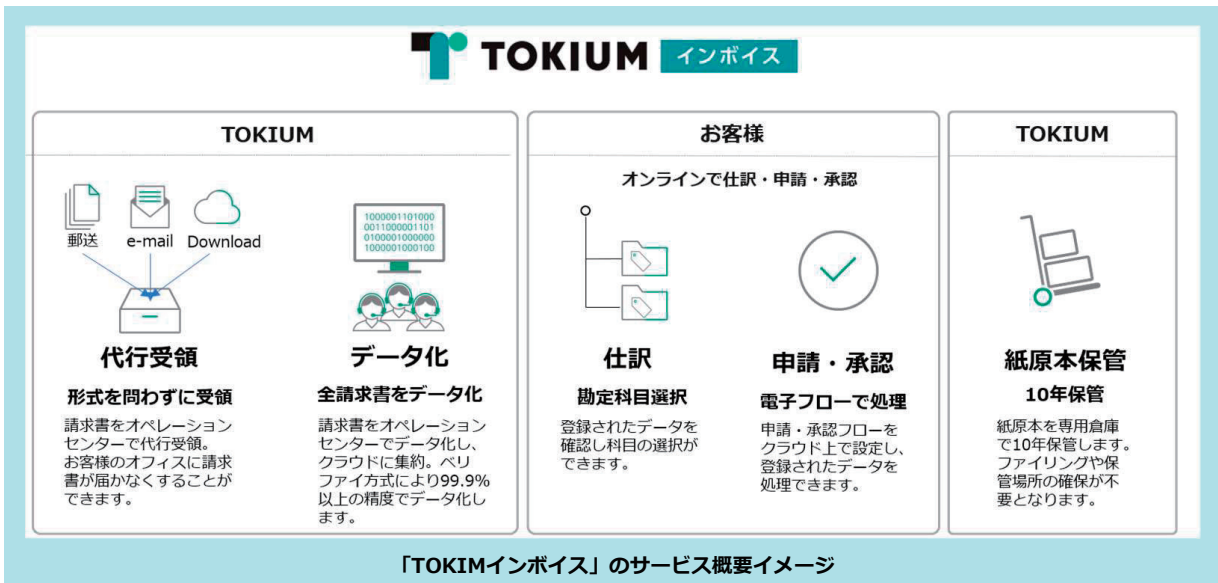
富士フイルムビジネスイノベーション株式会社は、株式会社TOKIUM（本社：東京都中央区、代表取締役：黒崎賢一、以下、TOKIUM社）と協業し、同社の請求書受領クラウドサービス「TOKIUMインボイス」を2023年2月27日よりご提供しています。お客様の経理業務におけるDX推進と法改正への対応を強力に支援し、企業間取引における業務課題を解決します。

「TOKIUMインボイス」は、紙やPDFなどあらゆる形式で届く請求書をTOKIUM社がユーザーの代行で受領し、99.9%以上の高精度でデータをクラウドに登録することで、ユーザーはクラウド上で請求書の仕訳・申請・承認作業を行うことができるサービスです。請求書の原本はTOKIUM社が保管するため、ユーザーによる管理の手間がなくなります。これまで請求書を紙で受け取り、紙の帳票を用いて処理していた企業も、請求書処理プロセスをデジタル化するとともに、原本を自社で保管する必要がなくなり、請求書処理業務の効率化を実現します。

また、本年10月施行のインボイス制度（適格請求書等保存方式）※1や、12月末の改正電子帳簿保存法（以下、電帳法）※2の猶予期間終了が迫り、請求書の受け取りにおいても法改正に対応することが急務です。

「TOKIUMインボイス」はこれらの法改正対応を支援します。適格請求書発行事業者の登録番号をはじめ、インボイス制度対応のために確認が必要とされる項目をTOKIUM社が照合することで、ユーザーが確認する負担を軽減するほか、「JIIIMA認証（電帳法スキャナ保存ソフト法的要件認証）」※3を取得しており、請求書のみならず、契約書・納品書・見積書などの国税関係書類※4も電帳法に準拠した保管・一元管理が可能です。

【標準価格】 都度お見積もり



富士フイルムビジネスイノベーションは今後もお客様の業務課題解決のニーズに応え、DX推進を加速し、お客様の業務生産性向上に貢献します。

※1：2023年10月に始まる消費税の新制度です。適格請求書(インボイス)とは、売手が買手に、正確な適用税率や消費税額等を伝えるものです。インボイスを発行できるのは、税務署長に申請して登録を受けた「適格請求書発行事業者」のみです。買手が消費税の仕入税額控除を行うには、売手からインボイスを取得し、保存しておく必要があります。買手は、請求書発行者が「適格請求書発行事業者」であるか国税庁で公表されているサイトから照合し、請求書に「登録番号」、「適用税率」、「消費税額等」が正しく記載されているか確認することが求められます。

※2：2022年1月に改正された国税関係帳簿書類を電子保存する際の要件を定めた法律です。電子取引に関する規定に対応するための有償措置が2年間設けられましたが、2024年までに企業は電帳法に対応しておく必要があります。

※3：公益社団法人日本文書情報マネジメント協会（JIIIMA）が、スキャナ保存を行う市販ソフトウェアが電子帳簿保存法の要件を満たしているかをチェックし、法的要件を満足していると判断したものを認証するもの。

※4：法人税や消費税など税に関係した法律で保存を義務付けられた書類。

リーズナブルに導入可能な、バリアブル印刷ソフトウェア!

詳細はこちら



FusionProシリーズは、バリアブル印刷でニーズが高い「バリアブルデータプリント機能」と「イメージバリアブル機能」に対応したソフトウェアです。お客様の声をもとにバージョンアップを繰り返しています。

<活用例>

名刺

面付にも対応

DM、はがき・封筒

宛名の縦書き、面付、カスタマーコードやQRコードに対応

伝票、フォーム

ナンバリングや面付に対応

POP

商品POPカードやプライスカード

カレンダー

パーソナライズ画像

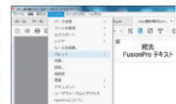
様々な機能で制作業務を効率化

1 高いJOB処理生産性

組版出力業務で高いJOB処理生産性を発揮。商用印刷でニーズが高い様々な印刷アプリケーションの制作、出力作業を効率化します。

2 印刷業に最適なバリアブルデータ印刷ワークフロー

Adobe InDesign、Adobe Acrobat Proのプラグインソフトなので、テンプレートの制作や組版は、デザイナーが使い慣れたAdobeの操作環境やデザインデータをそのまま活用できます。



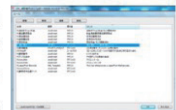
3 可変入力データへの柔軟な対応力

ルールやウィザード機能を使い、煩雑なスクリプトなしでテンプレート設定が可能。また、Microsoft Excelや他システムから出力されたCSVファイルもテンプレートへの単純なデータ項目設定で対応します。



4 プログラミング作業を軽減

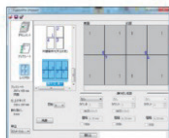
画面にて項目を選択する「切り替えルール設定」や、ドラッグ&ドロップ操作にてルールを設定できる「テキスト・ルール・ウィザード」を使用することにより、スクリプトによるプログラミングを行わなくても、データをバリアブル設定するルールを作成することが可能です。



5 面付け機能

印刷フローで利用する面付け処理もサポートし、業務効率化を支援します。

※FusionProに同梱の面付設定ツールを使用。



6 パーソナライズ画像とシームレスな連携

FusionPro VDP CREATORとFusionPro Expressionとのシームレスな連携により、パーソナライズ化された画像テンプレートをデザイン・テンプレートに紐付けし、直接プレビューと組版出力を実現します。



封筒の大量出力を効率的に印刷処理する 「imagePRESS 封筒モデル」

「imagePRESS 封筒モデル」は、幅広いアプリケーションに対応するキヤノンカラープロダクションプリンター「imagePRESS V シリーズ」に、光文堂製「封筒フィーダーUF-02」を接続することで、封筒の自動給紙を行い効率的な封筒の大量出力を実現しました。

手足給紙部をカスタマイズする事で、軽オフセット用の信頼性が高い搬送装置を接続、優れた生産性、搬送精度を実現いたしました。オフセットでプレ印刷された封筒に宛名をバリエーションで追い刷りするといった業務も、1 パスでスピーディーに印刷が可能です。

imagePRESS V900/V800



封筒フィーダーUF-02



■imagePRESS 封筒モデルのメリット

- ・「封筒フィーダーUF-02」には最大 300 枚まで封筒がセット可能、印刷中の追い積み補給が可能。
- ・一般的な POD 機でカセットから封筒印刷を行う場合、印刷中は常に封筒の給紙を行う必要がありオペレーターが張り付き状態に、そうした状態を解決し稼働率の向上に貢献します。
- ・長形 3 号の 2,000 枚印刷は約 60 分で完了、本体カセット給紙時と比較し約 25%時間短縮。

■主な仕様

- ・長形 4 号～角形 2 号までの封筒サイズに対応。
- ・仕切り紙の自動挿入が可能、員数作業の効率化を実現。
- ・定着部に弾性ベルトを採用、封筒の貼り合わせ部に印字しても跡がほとんど残らない。

キヤノン品川 S タワーにてデモンストレーション受付中。ご依頼は担当営業までお願いします。

関東複写センター協同組合
組合員 各位

関東複写センター協同組合
理事長 米田 和秀
教育情報部部长 家令 光国

関複セミナー Digital Printing World Autumn 2023

—デジタルプリンティングがもたらす最新の提供価値を一挙公開!—

日頃より関複の組合活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、今回は当会協賛会員富士フイルムビジネスイノベーションジャパン様のご協力により「Digital Printing World Autumn 2023」を開催いたします。

今回のセミナーは、デジタルプリンティングの最新動向についてご説明いただきます。第一部として、特殊マテリアル（印刷する用紙等の媒体）の詳細説明とともに、マテリアル活用のお客様事例のご紹介。第二部では、グラフィックコミュニケーション事業における同人誌市場の事例及びデザイン専門学校との協業事例のご紹介。第三部では、豊洲ショールームのデジタルプリンティング関連の展示コーナー見学を予定しております。（詳細は、別紙案内状をご覧ください）

セミナー会場は、50名程入れる部屋をご用意しておりますので従業員の方もお誘いの上、皆様ふるってご参加ください。

以上

記

日時 2023年10月26日（木）15:00~17:35（受付14:30～）

場所 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 豊洲ショールーム
東京都江東区豊洲2-2-1 豊洲ベイサイドクロスタワー 17階

《受付締切：10月24日（火）》

〈参加申込方法〉（詳細は、別紙案内状をご覧ください）

専用お申込サイトからの参加登録

URL <https://survey.zohopublic.com/zs/cDBU0g>

※右 QR コードからお申込サイトに入ることが出来ます⇒⇒⇒⇒⇒

上記お申込みサイトから必要事項を記入の上、参加登録をお願いいたします。



お問合せは関複事務局／TEL：03-3815-4338 まで

Digital Printing World Autumn 2023

デジタルプリンティングがもたらす最新の提供価値を一挙公開！



日 時： **2023年10月26日（木）**
15:00～17:35（※受付開始、14:30）

会 場：富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社
「Bridge for Innovation」(豊洲ショールーム/詳細次頁)
東京都江東区豊洲2-2-1 豊洲ベイサイドクロスタワー17階

主 催：富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社
グラフィックコミュニケーションサービス (GC) 営業統括部
営業二部及びGC販売推進部

拝 啓

貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り心よりお礼申し上げます。新型コロナウイルスが5類に移行して約半年が経過し、経済の回復が着々と進んでいる気配を感じています。

日々のビジネスにおいてもコロナ前に比ベリアルな接点が増加し、デジタル技術を活用したハイブリッドによるお客様との新しい関係性を築き上げながら仕事を進め、収益を確保するスタイルが定着してきたのではないのでしょうか。

そのような中で、弊社では“お客様と共に考え、共に利益を創り出すデジタルプリンティング”によるお役立ちを果たすべく、この度『Digital Printing World Autumn 2023』を企画・開催させていただきます。日々業務改善や新たな収益確保に向けた検討を続けておられるお客様へ、関心をもっていただけるようなコンテンツをご用意致しました。

ご多用中の折とは存じますが、是非ともご来場を賜りたくご案内申し上げます。

敬 具

セミナー講演 1 15:05～15:45 定員：50名

『オンデマンド×特殊マテリアルご紹介 コンテンツの価値を引き出す用紙マテリアル』

講師：富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
GC事業本部 バリュエイノベーショングループ
鎌形 明

■概要

～最新 主役を引き立てる【パイププレーヤー】～

世の中には何万という種類の紙があります。また、昨今の印刷技術の進化により印刷する媒体（メディア）は紙から紙以外のモノにも変化してきています。コロナ禍でも勝ち残って来た印刷物にはそれなりの意味があります。実際のお客様事例を中心にご紹介していきます。

セミナー講演 2 15:45～16:25 定員：50名

グラフィックコミュニケーション事業における 新たな取り組み事例

講師：富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
GC販売推進部 ニューインダストリーグループ
武城 真紀子 鈴木 美波

■概要

Revoria Press PC1120の特殊色の啓発を目指し、様々なプロジェクト活動を進めています。

本セミナーでは「印刷会社と富士フイルムBIジャパンによる同人誌市場への特殊色認知拡大プロジェクト」と「デザイン系専門学校と印刷パートナーによる産学連携デザインスキーム」の最新事例をご紹介します。

デモ・展示コーナー見学 16:30～17:30

■展示1

デジタル印刷が実現するエシカル消費の事例

持続可能な社会を実現するためのエシカル消費活動をデジタル印刷でどう支援できるか？
実際のサンプルをご覧ください



■展示2 Revoria (レボリア) のご紹介

特殊機能、特殊用紙印刷への対応

弊社のプロダクション・プリンティングのブランドであるRevoriaシリーズを特徴的な機能を中心にご紹介いたします



■展示3 Apeos (アペオス) Proのご紹介

環境配慮用紙への出力対応 他

LEDプリントヘッド 2400×2400 dpiの高品質でお求めやすいPODプリンターです。環境配慮用紙への印刷デモを中心にご紹介いたします



「Digital Printing World Autumn 2023」参加申込書

お申込み締め切り：10月24日（火）

参加お申し込み方法

①専用お申込サイトからの参加登録 URL <https://survey.zohopublic.com/zs/cDBU0g>

※右QRコードからもお申込サイトに入ることが出来ます⇒⇒⇒



②本参加申込書に下記項目をご記入の上、弊社担当営業に直接お渡しください

※ご来場のお客様へのお願い：当日会場受付でお名刺を頂戴いたしたく、お手数ですがご準備の程よろしくお願ひ申し上げます

貴社名			
ご住所			
電話番号	()	F A X 番号	
部署名	お役職	(ふりがな) お名前	Eメール
		ふりがな 氏名	
		ふりがな 氏名	
		ふりがな 氏名	
		ふりがな 氏名	
		ふりがな 氏名	

【個人情報の取扱いについて】
ご記入いただきましたお客様の個人情報は、弊社およびあらかじめ弊社との間で機密保持契約を締結している関連会社、代理店、業務委託先などにおいて、(1)電子メール、ダイレクトメール、電話、対面営業による商品・サービスのご紹介、(2)電子メールニュースの送信、(3)弊社が主催するイベントやセミナーのお知らせ、(4)今後のイベントやセミナーを企画する際の調査・分析、(5)本セミナーの運営上必要な連絡のために利用させていただくことがございます。なお、今回ご提供いただいた個人情報は、法令および弊社内部規則に基づき厳重に管理いたします。

会場のご案内

住所・電話

東京都江東区豊洲2-2-1 豊洲ベイサイドクロスタワー17F

03-6633-1340

※2F受付で入館者用のカードをお受け取りいただき、入場ゲートでカードをかざしてお入りください。ご入場後はエレベーターで17階までお越しください

交通案内

- 有楽町線「豊洲」駅下車
 - 2B出口方面地下直結
 - 2A出口徒歩1分
 - 7出口徒歩1分
- ゆりかもめ「豊洲」駅下車
 - 北口徒歩1分



FUJIFILM

富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社

〒135-0061 東京都江東区豊洲2-2-1 豊洲ベイサイドクロスタワー

●お問い合わせ先

GC営業統括部 GC販売推進部 鈴木 信彦

携帯：090-7248-7889

eメール：nobuhiko.suzuki.jw@fujifilm.com

ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジー

～水晶の歌声とバンドウーラの可憐な響き～



50周年記念祝賀会

令和6年1月19日(金曜日)



ロイヤルパークホテルにてウクライナ出身、日本在住の歌手ナターシャ・グジーさんをお招きしミニコンサートを開催いたします。透き通るような水晶の歌声をぜひご堪能ください。コンサート終了後にはお楽しみ抽選会を予定しております。

ナターシャ・グジー / 歌手・バンドウーラ奏者



ウクライナ生まれ。

ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。

その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。

ウクライナの民族楽器バンドウーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。

1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。

2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。

その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドウーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。

2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。

2016年7月、これまでの活動が評価され、外務大臣表彰を受ける。

コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。

■ 予定曲目

「わがキエフ」「秋桜 (コスモス)」「アヴェマリア」ほか

連載

事業承継問題

〈第2回〉失敗事例から学ぶ事業承継

株式会社日本工業社 会長：米田 和秀（関東複写センター協同組合理事長）



米田理事長

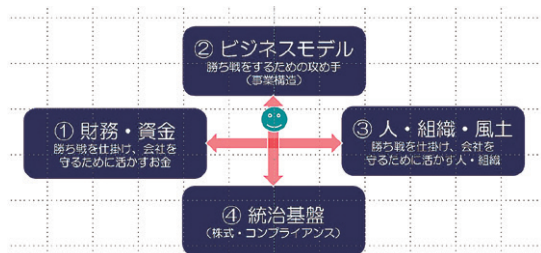
■はじめに

今回は弊社の事例をご紹介します。事業承継におけるポイントをお話ししました。私自身、継いだ経験が1回、継がせた経験が1回あるだけです。事業承継は継がせた段階では50%、後継者経営がうまく回って初めて100%の成功です。特に交代後5年は大切な時期です。後継経営者を老婆心にならぬよう客観視してあげる必要があるでしょう。今回は残念ながらポイントを外したために承継がとん挫したり、コミュニケーションハザードを招いてしまった企業のヒアリングから、私がコンサルとしてアドバイスした2社をご紹介します。後継者不在で廃業や企業売却が多い中で、後継者がいるにもかかわらず手順を誤ると身内であるだけに修復が効かなくなってしまうのです。また表面化しなくても、悩んでいる後継者は多く存在する可能性があります。

その前に弊社がコンサルを受けた「後継者の学校」で基本としている事業承継における経営の4要素についてお話しします。

■経営の4要素

一般的に経営の3要素は、「ヒト」「モノ」「カネ」と言われます。またもう一つ加えるとすれば「情報」が挙げられます。しかし事業承継においては、「統治基盤（株式・コンプライアンス）」を加え4要素としています。他の3要素は人に任せられますが、統治基



盤は、経営者自らが主体的に考え行動し決断すべきものです。

言わば、常に経営の4要素を俯瞰し、バランス感覚を鍛え、総合的にとらえた上で、打ち手を見出すことが永続企業を目指す要諦なのです。

■重要なのは経営者側から開示すること

事業承継に重要なのは、まず第一に経営者側からの開示です。そしてそれを後継者に理解させる責任があります。経営状況、経営者としての姿や考え方など日頃伝えている経営者は皆無です。それを未経験の後継者に理解させることは簡単ではありません。だからこそすべてを正直にさらけ出す姿勢が大切なのです。

私の場合は、30年間通っている経営者の朝活で、毎週のように家庭や企業経営に失敗し、そこから復活した経営者の講話を聴くことで自己開示の大切さを学びました。当初は、「よく人前で失敗話をできるな」と失笑していましたが、自分に苦難が到来したときに、改めて大切さを実感しました。その後苦難感が変わり、苦難が来るとその真因は何かを追求し、講話のネタが増えたと考えられるようになりました。

■事例企業について

今回の2社は、私の懇意にしている経営者です。お互いに事業承継に関心が高かったものの外部サポートを受けてスタートしたのは弊社だけでした。経過報告も含めて話す中で、比較することができました。2社に共通するのはまさに経営者側の「開示不足」だったのです。

プライド、遠慮、取るに足りないなどと自分の価値観で決めるのではなく、未来を担う後継者へのメッセージとして勇気をもって向き合うことが、身を引く覚悟と引き継ぐ覚悟をお互いに醸成するチャンスなのです。

■事例1（製造業）

創業者：父（67歳）

「俺がいないと営業がね」と前面に出続ける／後継者に会社の現状を明確に示さずに入社させた／業績悪化により退任させられる／世間的には、「立派な引き際」と評価されるが、実は不安だった。

後継者：長男（37歳）

ワンマンで実力のある父親から打診され、入社を決める／経営状況は「大変!」とは聞いたがそれ以上には問い正さなかった／その後父の営業力がすべてで社交性に欠ける自身を卑下／スキルを活かしIT化で合理化を推進し続ける／常務昇進と同時に、財務にもメスを入れ、負担の最大要因だった社長（父）、専務（母）の同時退任を勇気を持って決断。

【解説】

営業指向の経営者の場合に多くある事例ではないでしょうか？自分はいつまでも活躍できると思いがち。「名プレーヤーに名監督なし」と言われるように引き際を決断できないのです。

後継者が入社後も承継時期が明確に示されないままで、本人は居場所を失い、得意分野だったITスキルを発揮しDX化に取り組みました。しかし既存スタッフとのコミュニケーションに悩みの連続でした。常務に昇進後に経営全般に視野が広がり、経費削減の中核として両親を退任させる決断に至ったのです。退任後ランチミーティングをした折に、後継者入社時に、開示が足りなかったことが、後々まで協調できない原因だったと悔やんでいました。

今回のように後継者にITスキルがあることは実は強みです。弊社でも同様でした。かつて私がNo.2としてOA化を進めた際に、幹部から猛反対を受けた経験がありました。その時の反省は、「何でこんな面倒くさいことをやっているんですか？」と上から目線で接したことが原因でした。高いスキルがあっても、一人でやらせるのではなく会社の決断として幹部を巻き込み現場の協力のもと進めることが大切です。それがなければ、現場をかき回すだけで成果が得られず、無

駄な投資で終わってしまう例も少なくありません。

■事例2（製造業）

創業者：父（69歳）

長男、次男をそれぞれ工場ライン責任者として入社させるが、長男を後継者候補として外部に連れ出すことが多くなり、兄弟間のトラブル発生。結果、長男が退社／次男を再度後継者として育成するも、コミュニケーションギャップに悩む／社長が持病（睡眠時無呼吸症候群）を妻にしか開示できずに、次男には仕事に集中していないと誤解される。

後継者：息子（30代前半）

工場ラインに張り付き状態であったが、兄の退社、業績悪化に直面する中で、後継者の自覚が芽生える／しかし、父親が持病の開示を怠ったことで、誤解が再燃。

【解説】

コロナ禍のある日先代である父親から息子と話してもらえないかと相談があり、Zoom面談を試みました。すでに入社しており工場のラインを兄と分担していたとのこと。真面目そうで仕事のことは熟知している様子でした。ところが「父が仕事に真剣でないです」と切り出されました。どういうことかと聞くと、金融機関や顧客先に同行する際に、商談中に居眠りしそうになる。何度も肝を冷やしたというのです。それが発端となり、父を尊敬できなくなっているそうです。後日父親に報告すると、「実は睡眠時無呼吸症候群で急に眠気が襲うんです。家内には話しているんですが、息子には伝えていません」私はすぐにでも伝えて誤解を解くようにアドバイスしました。心配をかけたくないのかもしれませんが、そのことがコミュニケーションハザードを呼び、すべてを失うことになるかもしれません。事業承継では、譲る側は、全てを開示すべきなのです。そのことで自身の覚悟も促進され、後継者にも真意が伝わるのです。

今回は、経営者側の開示不足が及ぼす事業承継の失敗事例をご紹介します。

次回は、譲る覚悟ができていない経営者の失敗例とそれを回避する対策についてお話しします。

プライバシーポジションの維持管理に役立つ

神田先生の質問回答コーナー



株式会社コンサルティング・オフィス
代表取締役 神田幸男（中小企業診断士）

令和5年度のプライバシーポジションの維持・更新研修会が始まりました。そこで、研修会において様々なご質問をいただきました。その中で代表的なものをご紹介します。

「当社では、ダイレクトメールの発送業務を業者に委託する場合、ダイレクトメールの発送業務の委託に伴い、ダイレクトメールの送付先である顧客の氏名や住所等のデータベースをUSBに保存して提供しています。このような場合、本人の同意を得ることなく業者に提供して問題ありませんか」という質問でした。

個人情報取扱事業者が、その利用目的の達成に必要な範囲内において、ダイレクトメールの発送業務を業者「委託」する場合には、顧客の氏名や住所等の個人データをダイレクトメールの発送業者に提供しても、第三者提供の制限に違反することにはなりません。

すなわち、このようなケースは「委託」であり、「第三者提供」には該当しないため、本人への通知や同意を得る必要はありません。

ただし、委託者は、委託先を監督する義務が生じます。

個人情報取扱事業者は、「個人データの安全管理のために必要かつ適切な措置を講じる」一環として、委託先に対して必要かつ適切な監督を行わなければならないとされています。

具体的には、次に掲げる必要かつ適切な措置

を講じなければならないとされています。

① 適切な委託先の選定

委託先が、個人データ等の適切な安全管理措置を確立していることの確認等を行い、適切な委託先を選択する必要があります。例えば、プライバシーポジションやプライバシーマークの取得を行っている場合は、一つの判断基準となります。

② 委託契約の締結

非開示契約（業務委託契約書）の締結が望ましいが、委託先から委託元への誓約書の差し入れ、覚書又は合意書などの取り交わしであっても、合意内容が客観的に明確にできる手段であれば、書式の類型を問いません。

③ 委託先における個人データ取り扱い状況の把握

①又は②が困難である場合は、委託元による委託先の業務を監査するという方法もあります。委託元が提供した個人データがどのような方法等で安全管理されているのかを確認することです。

今後もこのように、個人情報に関するご質問に答えていきますので、プライバシーポジションの維持管理に役立ててください。

『Kanpuku News』表紙掲載写真ご提供のお願い

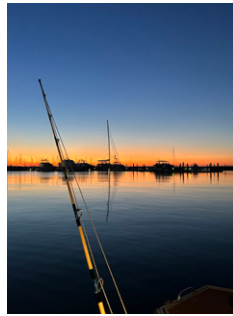
Kanpuku News では毎月、表紙の掲載写真を理事の皆様のご協力でご提供しております。今後は会員同士のコミュニケーションも含め多くの会員皆様からの投稿をお願いしたいと思います。

題 材：フリー

撮影機材：一眼レフ～スマホ全て可能
※タイトル又は簡単な説明を 30 文字程度付けて下さい

送 付 先：メールにて以下へ送付して下さい
kjun@keyo.co.jp

※写真は横長タイプを推奨します



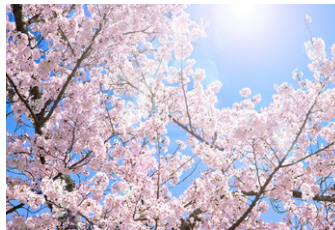
■今月号の掲載写真

横浜朝焼け

家令光国氏 (株)三千和商工



Kanpuku News No.3: 渡邊 浩財子氏
渡嘉敷にてスキューバダイビング



Kanpuku News No.2: 渡邊 浩財子氏
春爛漫



Kanpuku News No.1: 朝香 雅文氏
真っ白に雪化粧した富士 (芦ノ湖)

関複会員情報

この度、当組合「月刊関複」「Kanpuku News」に長年の間広報の要として話題や価値のある紙面作りにご尽力いただきました(株)ビバン様が諸事情によりやむなく引退することとなりました。長年にわたる並々ならぬご愛顧に心より感謝申し上げますとともにますますのご健勝をお祈り申し上げます。今後の「Kanpuku News」は広報企画部で検討しながら引き続き発行して参ります。

関東複写センター協同組合季刊誌

Kanpuku News

2023 Autumn **No.4**

令和 5 年 10 月 1 日発行

購読料／年間購読 2,000 円 (消費税・送料込み)
1 部 500 円 (税込み・送料別)

編集発行人：関東複写センター協同組合
広報企画部 Kanpuku News 編集委員会

発行所：関東複写センター協同組合

住 所 〒112-0002

文京区小石川 1-4-12

文京ガーデン ザ ウエスト 704 号室

T E L 03-3815-4338

F A X 03-3815-4357

Eメール info@kfcc.or.jp

U R L <http://www.kfcc.or.jp>

印刷所：株式会社ケーヨー



KONICA MINOLTA

Giving Shape to Ideas

真の プロダクション 印刷システム



印刷生産機としての実稼働率の向上、より高い品質の印刷物をより確実に、安定して供給。そしてそれらをスキルレスでのオペレーションで実現する。プロダクション印刷システムの基本性能向上に拘った真の生産機、それが、AccurioPress C6100シリーズです。

AccurioPress C6100/C6085

色管理・表裏見当調整を自動化

用紙厚によらず毎分100枚※1の高速出力

受注幅を拡大する400g/m²の厚紙対応力

独自技術を駆使した高画質と色安定性

サービスの多様化を推進するフィニッシャー群

※1: C6100にて、A4ヨコ・52~400g/m²紙時



*写真はC6100にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社 〒105-0023 東京都港区芝浦1-1-1

●商品に関するお問い合わせは ☎0120-805039 受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00(土、日、祝日を除く)

<http://www.konicaminolta.jp>

RICOH BUSINESS BOOSTER

私たちは“仕事を創る”、“仕事を回す”、“仕事が見える”の3つの視点から、
印刷事業者のビジネス拡大をさらに支援するための活動

『RICOH BUSINESS BOOSTER』を推進しています。

お客様ごとの課題に真摯に向き合い、

時には共創活動を通じて新たな価値を生み出しながら、

それぞれの解決策を導き出していきます。

印刷事業者の“真”のパートナーとして、

前例にとらわれない新たな答えを創りだす。

『RICOH BUSINESS BOOSTER』は私たちリコー日本の
新たなビジネスコンセプトです。

Canon

品質が
雄弁に語る、
現場が求める
一台。



印刷現場が求める、安定性と生産性、
そして高いメディア対応力を発揮。顧客ニーズに
応えた高品質な成果物で、プリントビジネスの
新たな可能性を生み出します。

imagePRESS
V1000



©オンデマンドプリンター ホームページ

canon.jp/pod-printer

カタログは、canon.jp/catalogからダウンロードしていただくか、ハガキの場合は、住所、氏名、電話番号を明記の上、〒261-8711千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-2 キヤノンマーケティングジャパン(株) カタログ請求 [imagePRESS] 係までお送りください。※カタログ請求を通じてお客様より任意でご提供いただいた個人情報、は、カタログ送付の目的のみに使用いたします。



©キヤノンお客様相談センター

プロダクション向け
複合機

 **0570-08-0053**

(ナビダイヤル) ※おかけ間違いのないようご注意ください。

※ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4392におかけください。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



平日9:00~17:00

(土・日・祝日および年末年始
弊社休業日は休ませていただきます。)

キヤノンマーケティングジャパン株式会社